

大分県特定協運営委員会 議事録

会議名	平成 21 年度 第 2 回	日 時	H21.7.10(金)16:00 17:00
	大分県特定協運営委員会	場 所	はびね別府流川 会議室
司 会	事務局 首藤		
出席者	はびね別府流川（八坂）、スカイホームあけの（峯）、ジュエル藤原（松谷） まごころ苑（中山）、ウェルファ豊丘（佐藤）、おおいた南（渡辺） 事務局...グランドホーム古国府(首藤)		
経 過	<p>1. 会長挨拶</p> <p>2. 第 1 回定例研修会について</p> <p>1)日時の変更 8月28日（金）が県高齢者福祉課による集団指導のため 9月4日（金）午後1時開始（大分市美術館 研修室）に変更を全役員が 了承した。</p> <p>2)研修についてのアンケート集計結果を事務局から報告</p> <p>3)研修内容の検討</p> <p>アンケート結果を基に、第1回定例研修会の内容、進め方等について検討した。 その結果、以下の内容となった。</p> <p>研修室の利用時間が短い事と、講演予定していた県高齢者福祉課による「法令遵守」 が8/28の集団指導と重複するため、今回講演は省くことにした。</p> <p>情報の公表制度の調査項目で求められている確認材料をテーマとして、これまで実施 してきた「事例発表 グループワーク まとめ」を見直した。以下その概要。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例（特に成功事例）を発表しても技術レベルや人員体制などから、同じようにで きない施設もあるのでは。 ・グループワークも参加者全員が進行の役割を経験できるようなものがよい。 ・グループワークは1グループ 10名以下が望ましい。 ・現場の声をテーマに反映したほうが研修の内容としては充実するのでは。 ・アンケートでも意見が多かった「職種間の情報交換の場の提供」を実施してみても どうか。 ・情報の公表制度で求められている項目のうちで、自施設では実施困難なものに絞っ て、定例研修会で取り上げることにしてはどうか。 ・講演は多少費用がかかっても、専門の方をお願いしたほうが充実するのでは。 <p>上記の検討内容から、第1回定例研修会の実施要領が以下のように決定した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の公表制度で求められている研修実施や事例検討の記録については、会員施設 にアンケートをとり、自施設で困難な研修テーマを把握する。当該テーマについて は、事例発表ではなく、専門家による講演または研修とする。 ・職種間の情報交換の場の提供として、生活相談員またはケアマネを対象とした意見 交換会を実施する。第1回目は、テーマは設けず、各施設から問題やテーマを持ち 寄り意見を交換する。問題やテーマについては、事前にアンケートをとりまとめた ものを各施設に開示する。 <p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7月末までにアンケートの集計と出欠の確認 ・8月上旬 運営委員会にて第1回定例研修会の進行内容を決定 		

3.介護研修センター主催の職員研修参加状況報告







介護研修センターより、第2部「認知症介護」に参加した職員（16名）の最終報告がありましたので役員に報告した。

第1部の基礎研修参加者も含めて総勢31名に対する補助金（3,000円/1名）を9/4（金）の定例研修会で渡すことにした。

4.その他

県高齢者福祉課の施設担当より、大分県特定協の活動内容（会則等やHP）について知りたい旨の要望があったので、会則、自主行動基準書を提出することにした。「介護労働安定センター」及び「認知症の人と家族の会」より特定協へ事業の案内をして欲しいとの依頼が事務局にあったので関係資料を提示した。

以上

中途出席	ウェルファ豊丘（佐藤）						
中途退席			必要事項 (備品、用品等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会場借上げ代金...0 ・ 飲茶代金 ...0 ・ 資料コピー代金...0 			
欠席							
回覧印	会長	副会長	副会長	委員	委員	委員	監事
							
記録者	事務局	グランドホーム古国府	首藤	毅志	印		